



生涯学習課生涯学習班
☎ 62-1130

学校支援ボランティア募集!

学校支援ボランティアとは、自分の持っている知識や技術、特技などを子どもたちのために役立てたり、特技がなくても学校や子どもたちのためにお手伝いをするといった支援活動です。

例えば、

- ▼学校農園や花壇の作業の手伝い
- ▼ミシンや裁縫の手伝い
- ▼地域の歴史について説明する
- ▼児童と一緒に清掃活動をする
- ▼昔遊びの指導
- ▼読み聞かせ

ほか多数です。子どもたちがすこやかに育ち、学校も地域も元気になれるように、みなさんが持っている力を、ぜひ北秋田市の子どもたちにお貸しください。募集要項は、中央公民館ほか、各公民館にあります。

◎お問い合わせ
生涯学習課生涯学習班

伊勢堂岱遺跡の一般公開

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産としてユネスコ世界文化遺産登録を目指している伊勢堂岱遺跡で、今年度の一般公開が5月1日より始まります。

伊勢堂岱遺跡は、国内でも類例がない4つのストーンサークルが見つかった遺跡で平成13年1月に国の史跡に指定されています。

見学者は世界遺産暫定リスト登録以降増え、県内外よりたくさんの方が訪れており、北東北の遺跡群とともに見学コースになるなど注目されています。

遺跡については、休日は「伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ」の方々がガイド説明を行っています。現在23名の方々が活動していますが、広く新規会員を募集中です。ガイドのほか、伊勢堂岱遺跡や縄文時代についての知識を深める活動が盛りだくさんです。

なお、団体のガイド申し込みは、生涯学習課文化班までご連絡をお願いします。

◎お問い合わせ
生涯学習課文化班
☎ 62-6618

学びの広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



母と子のわくわく広場

～親子で楽しいひとときを～

わくわく広場では、入園前(満1歳以上)の子どもと保護者の方を対象に、親子で身体を動かしたり、遊びをとおして楽しい時間を過ごせることをねらいに、年間を通じて開催しています。

また、保護者同士が子育ての情報交換をするなど「交流の場」にもなっています。

5月の開催日は9日(月)です。参加者を随時募集していますので、お気軽にご参加ください。

- ◆開催日 毎月 第2月曜日 10:00～11:30
(休日等で変更になる場合もあります)
- ◆対象 入園前(満1歳以上)の子どもと保護者



- ◆参加費 無料
- ◆内容 親子で楽しむ体操、おはなし、季節にあわせた工作ほか
- ◆講師 石郷岡順子さん、村上美保子さん、浅野厚子さん
- ◆問合せ先 中央公民館(☎62-1130)

カムバック・サーモン

～伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進サケ放流事業～

サケ放流事業「カムバック・サーモン」が4月17日、同遺跡近くを流れる湯車川で行われ、市民ら約70人が参加し、サケの稚魚約2万匹を放流しました。

この事業は、サケの放流をとおして湯車川をサケが遡上する川として環境保護を図り、遺跡周辺を「カムバック・サーモン」の中心地となるよう目指すとともに、同遺跡の世界遺産登録推進に重要な周辺環境の保全を目的に行われたものです。

放流では、参加者がサケの稚魚の入ったバケツを



持って川岸に並び、「大きくなって帰ってくるんだよ」「元気に戻ってきてね」などと声をかけながら、やさしく放流していました。

県有形文化財に指定

～市内出土土偶の2点～

3月22日、県内出土の土偶10点とともに、北秋田市内で出土した縄文時代の土偶2点が新たに県有形文化財(考古資料)に指定されました。

指定されたのは、国指定史跡伊勢堂岱遺跡出土の土偶および高森岱遺跡出土の土偶それぞれ1点です。伊勢堂岱遺跡のものは、遺跡のシンボルマークでもお馴染みの板状土偶で、数多く出土した土偶のなかで唯一完全な形に復元できたものです。

高森岱遺跡のものは、亀ヶ岡文化に特徴的な遮光器土偶で、高さ35cmあまりとかなり大型のものです。どちらも、昨年秋に本市文化会館で開催された



「秋田の土偶」展(県教育委員会主催)で展示され、注目を集めました。

この他、県指定有形文化財(考古資料)には、魚形文刻石(阿仁根子)、白坂遺跡出土品(浦田)があります。

ふるさとの文化財

39

北秋田市指定有形文化財(彫刻)

○「青銅製大仏様」

◇所在地 北秋田市阿仁銀山下新町44
◇所有・管理者 善導寺・宮原至功

向山銀山の大山師(鉱脈を発見し、鉱山を経営・支配することを仕事とする人)であった青山清左衛門が、享保14(1729)年に一族の無くなった先祖の供養のため、京都三条の釜座鑄師、和田信濃大掾藤原国次に青銅の大仏を造らせ、善導寺へ寄付したものです。通称唐金露座仏と言われ、身長は6尺くら

享保14年(西暦9月2日)(1729)
年羽州秋田郡大阿仁郷銀山邑
施主 青山清左衛門

台座の外周に一族87名の戒名が刻まれています。

青山清左衛門は近江国(現在の滋賀県)の商人で、承応元(1652)年向山銀山に来て、鉱山の請負や企業者として活躍。巨万の富を築き、寺や神社に多くの寄付をしています。善導寺に梵鐘も寄付。(砥沢(向山)銀山を開山した。)

▽平成4年3月31日指定

▽資料/「阿仁の文化財その1」、「北鹿は宝箱」、審議会・齋藤氏資料ほか

○「専念寺山門 改修工事」

市指定文化財「専念寺山門」の改修工事が、平成22年10月7日終了し、完成祝いの法要を10月30日に実施されました。

△改修工事の内容▽

- ・屋根及び軒下(虹梁より上)は現状のまま
 - ・羽目板部材を変更(ヒバ→杉)
 - ・板扉の設計を変更・全塗装
- 専念寺山門は、大阪落城の残党で阿仁へ落ち延びてきた梶野庄左衛門と念仏請中の寄進によって元禄6(1693)年建立され、京都知恩院の山門(国宝)の形をとっています。専念寺の定紋は「五本骨違い輪の定紋」で、秋田藩主佐竹家よりいただいたものと伝えられています。
- ▽紹介者/北秋田市文化財保護審議委員 照内捷二



▲青銅製大仏様